

大会の幕を閉じる「ふれあいパーティー」で、クイチャーを踊る選手やスタッフら＝16日午後、宮古島市総合体育館



# 再会誓い「クイチャー」アスロン



アスロン取材班  
夏を思わせる蒸し

【宮古島トライ アスロン取材班】アスロン取材班は、夏を思わせる蒸し暑さの中で行われた第28回全日本トライアスロン宮古島大会(主催・宮古島市、琉球新報社)は16日、宮古島市総合体育館で、選手や大会関係者らが集まり、ふれあいパーティーが開かれた。宮古島大会に魅了された選手たちは、再会を誓い合っていた。パーティーでは、アトラクションや前日のレースのダイジェスト映像が放映され、盛り上がった。最後は選手や大会役員、ボランティアもステージに上がり、宮古島の踊り「クイチャー」を一体となつて踊った。初出場ですべて完走を果たした山下健司さん(28)は「東京はレースはきつかったけど、沿道の応援がすごくて、きつさを忘れるほど楽しめた」と話した。記念に新聞を買い込んだ香田正浩さん(福岡県)は、17日が52歳の誕生日。「良い思い出になった。抽選で選ばれれば、必ずまた来たい」と意欲を燃やした。優勝選手にサインをもらった神泰子さん(49)は「暑かったけど天気も良く、海もきれいで最高」と笑顔を見せた。